

Epistula

大分県立芸術文化短期大学広報誌 エピストゥラ

EPISTULA: 古典ラテン語で“手紙”という意味です。
広報室からみなさまへ、芸文短大の“いま”を伝えるお手紙をお届けします。



表紙/美術科 卒業修了制作展

Epistula

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE
Public Relations Magazine

Vol.82
2026.Spring

大分県立芸術文化短期大学広報誌「EPISTULA」2026年3月2日発行 通巻82号
大分県立芸術文化短期大学 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号 TEL097-545-0542 代表 FAX097-545-0543

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE

退職する教員からのメッセージ

情報コミュニケーション学科

安倍 尚紀 准教授

着任後、14年もの長い期間、周囲の先生方、事務局の方々にご迷惑をおかけしながら、なんとか大目にみていただき、勤務させていただきました。大分市・上野ヶ丘という地域も(長湯地域の竹田キャンパスを含め)学校の設備も、とても良い研究環境の中で、少人数制のゼミなどでは特に、学びを深めることができました。講義も学外活動も、学生の皆さんにも優しく真摯に接していただき、支えられながら仕事に専念できました。一昨年、車にひかれて以来、身体が少し不自由になってしまいました。家族の近くで療養しつつ、環境を再構築します。お世辞抜きで、おんせん県大分は最も住みたい土地です。どこかでまたお会いできれば嬉しいです。皆様のご活躍を、心より願っております。



情報コミュニケーション学科

藤原 厚作 講師

これまで、送る側・送られる側として何度も「卒業」を経験してきました。そのたびに、過去を振り返り、あの時あすればよかったなあ、あの時あ言えばよかったなあ、と反省ばかりしてしまいます。以前は、そのことをネガティブに捉えていましたが、最近では、何も反省できないよりはマシと、少し前向きに捉えることができるようになりました。たくさんの反省点がありますが、芸短での五年間は私にとってどれも大切な思い出です。在学生と卒業生、教職員の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



広報誌「Epistula」に関するお知らせ

これまで年4回、冊子を発行していましたが、来年度は一部をWEBのみで発行します。WEB版は大学HPよりご覧いただけます。また、こちらのLINEアカウントにてさまざまな大学の情報を発信します！ Epistulaの発行通知もLINEにてお知らせいたしますので、ぜひ友だち登録をお願いいたします。

大分芸短
広報だより



情報をいち早く Get!



Instagram



X



YouTube



ソーシャル
メディア一覧



大分県立芸術文化短期大学の公式SNSでは、本学が主催するイベント・展覧会等のお知らせをはじめ、キャンパス内の様子や学生たちが行うさまざまな活動について報告しています。また、学科や研究室のほか、サークル、イベント等でもSNSを立ち上げています。

芸文短大 検索 <https://www.oita-pjc.ac.jp>

Special

特集

4学科1年間の活動報告



進級制作展

美術科美術専攻1年次生 & 専攻科造形専攻美術コース1年次生 作品展

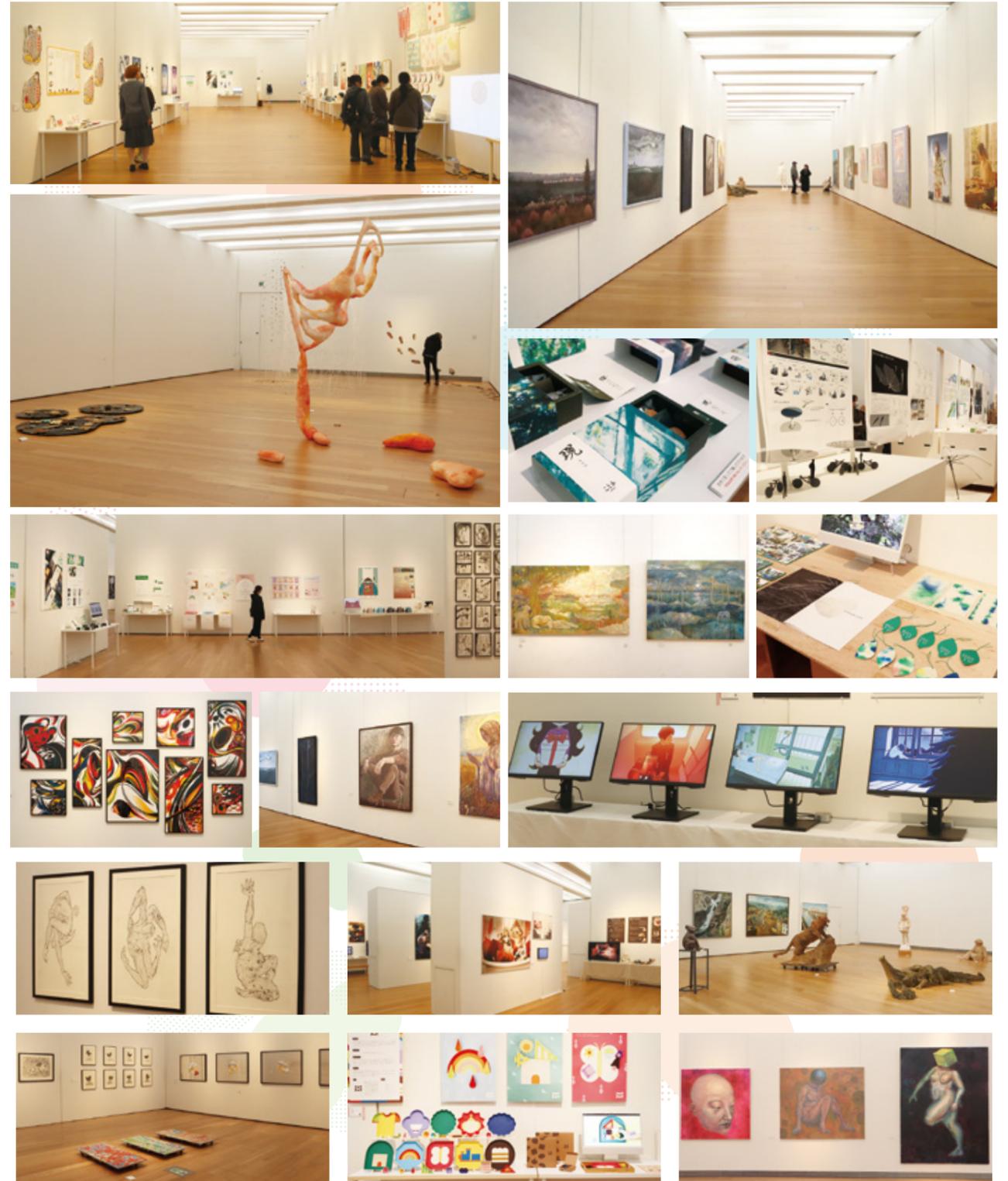
美術科美術専攻、専攻科造形専攻美術コースでは、4分野(油彩画、日本画、ミクストメディア、彫刻)から専門分野を定め制作研究に励んでいます。美術科、専攻科の1年生合わせて38名による80点以上の個性溢れるレッスンで意欲的な作品たちが展示されました。

期間中は学生によるギャラリートークも行われ、学生自身が作品に込めた思いや工夫した点などを発表しました。



第64回美術科 卒業・修了制作展を開催

1月20日(火)~1月25日(日)および1月27日(火)~2月1日(日)に、大分県立美術館(OPAM) 3F展示室Bにて「第64回美術科 卒業・修了制作展」を開催。短大生は2年間、専攻科生は4年間、芸短大で美術やデザインを専門的に学び、その集大成となる研究・作品発表の場として全109名による148点の作品を展示しました。



「第118回日展」にて 特選を受賞しました

「第118回日展」第3科彫刻にて、専攻科造形専攻美術コース1年 園田陽菜さんの作品「春うつつ」が、特選を受賞しました。今回の彫刻部門では最年少での受賞です。

彫刻部門は一般・会友75点の中から6点の作品が特選に選ばれました。「全体で一つの形態となるようにまとめられ心地よい。丁寧に研ぎ出された乾漆の肌合いも美しく、軽さのある量感の中に極めて高い密度を感じさせ。」と高く評価されました。



別府温泉 杉乃井ホテル × 大分県立芸術文化短期大学

新プロジェクションマッピングを制作しました



プロジェクトオリジナルの MCキャラクター:ゆげまる



美術科デザイン専攻メディアデザインコースの中澤渚翔さん、小濱蒼也さん、佐藤舞利香さん、そして本学の横井和也講師と非常勤講師佐藤圭先生が別府温泉杉乃井ホテルとのプロジェクトでプロジェクションマッピングを制作しました。別府の自然・温泉・鬼伝承をテーマに、建物形状に合わせた演出やキャラクター「ゆげまる」を取り入れた作品を完成させました。このプロジェクションマッピングは全天候型AMIBUSメントプール「アクアビート」全長約58メートルの屋外壁面で毎夜2回上映されています。別府温泉杉乃井ホテルのご利用時、またお近くに寄られる際は、ぜひご覧ください。



陸上自衛隊第4音楽隊と 本学ウィンドオーケストラとの 合同演奏会を開催しました

7月5日(土)本学音楽ホール棟本学ホールにて、陸上自衛隊第4音楽隊と本学ウィンドオーケストラとの合同演奏会が行われました。陸上自衛隊第4音楽隊と本学のウィンドオーケストラのそれぞれの単独演奏の後、合同での演奏が披露されました。陸上自衛隊公式行進曲「大空」をはじめ、迫力のある演奏で観客を魅了しました。アンコールもあり、観客も手拍子で参加し会場が一体となり演奏を楽しみました。



1回の舞台経験は100回の練習に勝る!

音楽科では「1回の舞台経験は100回の練習に勝る」をモットーに音楽科コンサートシリーズを開催し、多くの本格的なステージに立って演奏する機会を学生たちに与られています。今年度もさまざまな演奏会を開催しました。その一部をご紹介します。

10月 第61回定期演奏会 学科総動員で挑む定期演奏会。各コースの学生がソリストを担当しました。



地域巡回演奏会を 開催しました

9月8日(月)に宇佐市立北馬城小学校、9月9日(火)に中津市立上津小学校にて、令和7年度の地域巡回演奏会を開催し、本学音楽科と専攻科音楽専攻の学生たちが参加しました。児童の皆さんに最後まで楽しんでもらえるようなプログラムや進行を考え、オペライタート、ピアノ連弾、弦楽アンサンブル、木管五重奏、金管五重奏、合唱などを披露しました。また、最後には児童の皆さんと一緒に校歌を歌いました。



「おおいた第九の夕べ」を開催しました

12月25日(木)Mitsuzonoグラウンシアタにて「おおいた第九の夕べ」を開催いたしました。大分の音楽文化として根付きながらも、昨年惜しまれながら終了した大分の第九。この文化を本学が受け継ぎ、この作品を歌う講座をオープンカレッジにて開設しました。本学の学生有志とオープンカレッジの受講生合わせて約120人の合唱とオーケストラの演奏で行いました。



9月

若さあふれるコンサート

前期実技試験成績優秀者を声楽・ピアノ・管弦打の各コースから選抜し、独唱・独奏による演奏を披露しました。



11月

ピアノコース演奏会

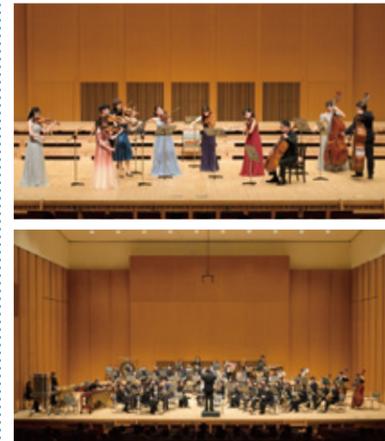
第1部のピアノ・ソロでは、学生8名による丁寧な演奏があり、第2部の連弾・二台ピアノアンサンブルでは、学生5名と喜多講師によるそれぞれの息の合った演奏を披露しました。



12月

管弦打コース演奏会

第1部ではマリンパニ重奏、木管五重奏、弦楽合奏でのアンサンブルを、第2部では吹奏楽編成による多彩な曲目と観客席での演奏など迫力のある溢れる演出を披露しました。



2月

声楽コース 声の響宴

後期実技試験成績優秀者による独唱から始まり、専攻科声楽コース学生によるオペライタートが披露されました。



3月

1年間の集大成である「第63回卒業演奏会」、専攻科音楽専攻「第41回修了演奏会」を開催します。

「第64回卒業演奏会」

日時 3月17日(土) 17:30開場 18:00開演
場所 本学 音楽ホール棟音楽ホール

「第42回修了演奏会」

日時 3月18日(日) 17:30開場 18:00開演
場所 本学 音楽ホール棟音楽ホール

第43回大分国際車いすマラソンにボランティアとして参加しました



11月16日(日)に行われた第44回大分国際車いすマラソンに出場するために来県している海外選手の通訳やアテンドのボランティアに国際総合学科の学生27名が参加しました。期間中は練習や食事、大会受付などに付き添い、大会以外でも全面的にサポートしました。参加した学生は「とても充実したボランティア活動となりました。かけがえのない経験ができて、将来につなげたいと考えています」と感想を述べていました。

ローカルからグローバルまで幅広い研究 卒業研究発表会を開催

1月26日(月)、27日(火)の2日間、国際総合学科「卒業研究発表会」を開催しました。国際総合学科では、学生一人ひとりが積み上げてきた経験や知識が詰まった発表となり、学んだ外国語を取り入れた発表や、日本と海外の文化との違いを検証するなど、それぞれの分野を深く掘り下げた多彩な研究発表となりました。



イギリス・英語圏研究室



【イギリス・英語圏研究】

- ・『赤毛のアン』におけるジェンダー観とキャラクター分析
- ・ストリートピアノ 一人と人をつなぐ

世界史研究室



【世界遺産研究】

- ・なぜ釜山には世界遺産がないのか - 慶州と比較して -
- ・都市の「美しさ」は何によって形作られるのか - ニースとウィーンに見る文化と景観の関係 -

西洋史研究室



【ヨーロッパ文化史研究】

- ・ケルト文化とその現代的意義
- ・北欧スウェーデンの豊かな暮らしを支える食と住

文化経済学研究室



【文化経済学研究】

- ・韓国ファッションブランドのグローバル戦略
- ・オーディション・プロデューサー・アーティストとファンダムの在り方

観光学研究室



【観光研究】

- ・日本のオーバーツーリズム課題に対する広告戦略について
- ・SNS時代におけるカフェ文化の観光的機能

アメリカ研究室



【American Studies】

- ・Religion, Character, and Personality Factors in Foreign Language Learning
- ・Why the American Music Industry Holds Global Influence

韓国語教育研究室



【韓国語・韓国文化研究】

- ・日韓のカフェの空間デザインからわかる日韓別顧客のカフェ利用目的
- ・韓国ドラマを活用した地域創生戦略

日本文学研究室



【日本文学・文化研究】

- ・日本のホラーの魅力 - 澤村伊智の作品研究 -
- ・日本の女性アイドルの現状と今後について考える

経営学研究室



【経営学研究】

- ・サービス産業における生成AIの活用とサービス品質向上の可能性
- ・市場特性の違いが経営成果に与える影響 - タリーズコーヒーの日米市場比較 -

ヨーロッパ文化研究室



【フランス地域研究】

- ・ワインがフランスにもたらしてきた文化的意義
- ・フランスの芸術運動から見る美術と技術の付き合い方の変化

国際関係学研究室



【国際関係論・国際ボランティア研究】

- ・伝統的キムチから機能的キムチへ - 国家戦略からみるイメージ拡張 -
- ・外国人と防災 - 日本語を母語としない外国籍の人々28人へのアンケート調査から -

歴史観光学研究室



【歴史・文化観光研究】

- ・伝統的祭礼行事の継承と変容に関する研究 - 長崎くんちを中心として -
- ・弥栄神社の祭礼絵馬から読み解く地域の記憶と文化

2025年度実施 海外語学実習報告



釜山外国語大学では韓国語の授業だけでなく文化体験の授業もあります。韓国の学生と共にチャマチョゴリ体験や応援グッズづくりなどの楽しいプログラムを体験することで語学力や異文化を理解する能力も養うことができました。

韓国

釜山外国語大学

毎年、春休みや夏休みを利用して多くの学生が海外で語学実習を体験しています。現地で実際に生活し、多様な文化的背景を持つ人々と交流することで語学力をはじめ、異文化を理解する能力も養うことができます。今年度は韓国・イギリス・オーストラリア・フランス・中国での実習を実施しました。前期に行われた、韓国・イギリスでの実習の様子をお伝えします！

イギリス

オックスフォード大学
セイントヒルダズカレッジ

大学はロンドンから列車でわずか1時間弱。京都と同じく長い歴史と英知を備えた非常に魅力的な場所に位置しています。少人数クラスで集中的に英語を学ぶだけでなく、オックスフォード近郊やロンドンを訪れ、イギリス社会や文化に触れることができました。



外国人留学生の支援活動



大分県社会福祉協議会、大学コンソーシアムおおいた、フードバンクおおいたが主催する「フードマルシェ」が開催され、食材の運搬や製品の陳列、会場設営などを行いました。

大分トリニータの
集客活動支援



フェイスシールや、看板などの作成に加え、トリニータの選手にご協力いただき広報用の動画を作成しました。試合当日は販売活動も行いました。

別府市の清掃活動



別府市の観光の歴史や同市の特徴などについて説明が行われました。別府駅から別府タワー、そして的ヶ浜公園から餅が浜公園にかけての海岸沿いを清掃しました。

清正公二十三夜祭



鶴崎商工青年部の方々と二十三夜祭のイベントの準備や企画・運営を行いました。学生達が担当した3つの会場は大いに盛り上がり、鶴崎の地域活性に貢献しました。

とうきびの収穫・加工・
販売支援



竹田市の卯野農園において、とうきびを収穫し、道の駅すこうで食品加工、青果販売、収穫体験支援を行いました。

生成 AI を用いた社会問題解決
ワークショップ



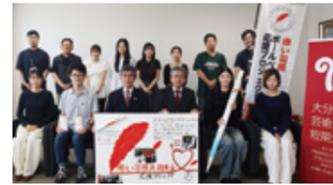
IVY大分高度コンピュータ専門学校、KCS大分情報専門学校の学生らも参加し、生成AIの特徴と可能性を理解するとともに、地域課題の解決案を検討・発表しました。

FUNAI まちなかジャズ
2025 の活動支援



府内五番街商店街と協力して会場の設置、観客誘導、チラシ配りなどの業務で汗を流し、商店街の活性化に貢献しました。

赤い羽根共同募金応援
プロジェクト



美術科の学生がデザインした芸短大オリジナルボールペンを制作し、募金活動を行いました。募金は大分県共同募金会を通じて、地域の社会福祉事業、自然災害支援などのために使用されます。

セタブロードウェイ 2025



大分セタまつりのフィナーレを飾るイベントとして、大分青年会議所と共同で7000個の風船を準備しました。祭りに参加した市民の方々に風船をお渡しし、夏の夜空に放ちました。

いす-1グランプリ
2025の支援活動



クラサドーム大分にて行われた「いす-1グランプリ」にて、コース整備や子供向けイベントの支援を行い大会を盛り上げました。

竹楽の支援活動



竹田市での「竹楽」にて竹灯籠の設置・点火の支援作業を行いました。歴史文化会館の前の灯籠のデザインも担当し、地域観光に貢献しました。

ふないキッズフェスタ
2025



府内五番街商店街において、子供向けのワークショップやスタンブラリーを開催しました。また、大分市内の園児が描いた約1000枚の絵を牛乳パックに巻いてキャンドルとして点灯しました。

サービスラーニング情報

学んだことを地域で活かす、地域で活動することで学びの意味を考える

地域・情報・人間に関するテーマを研究
卒業研究発表会を開催

1月28日(水)、29日(木)の2日間、情報コミュニケーション学科「卒業研究発表会」を開催し12研究室から35のテーマ発表が行われました。情報コミュニケーション学科では、社会の仕組みや生活の中での興味・疑問に感じたテーマを掘り下げ、アンケートやインタビューなどを通じて分析した結果を発表しました。

2025 年度卒業研究一覧

地域ビジネス
コース

- 「甘太くん」のブランド形成に関する調査研究—マーケティング・ミックスの分析視点から—
- アートを活用した地域活性
- 海洋プラスチック問題の認知度向上におけるワークショップの有効性に関する研究



情報メディア
コース

- Blenderを利用した立体モデルの作成—手書きイラストをVTuberにするまで—
- 著作権の啓発を目的としたボーカロイドMVの制作—著作者人格権を中心に—
- ファンは文化を創る—JPOPとKPOPにおけるファンダムの違い—



心理スポーツ
コース

- 大分トリニータにおける集客活動が観客動員に与える影響
- 大学生の就職活動と自己効力感の関連性
- 恋愛におけるときめきと恋愛感情



3/17 TUE 第64回 卒業演奏会



各コースの中から選抜された学生が、2年間学んだ成果を多彩なプログラムで披露いたします。

時間 17:30開場
18:00開演
場所 音楽ホール棟
音楽ホール
料金 無料
お問い合わせ
音楽科副手室
Tel 097-545-8758



3/18 WED 第42回 修了演奏会



専攻科音楽専攻の修了生の中から、選抜された学生が4年間学んだ成果を披露いたします。

時間 17:30開場
18:00開演
場所 音楽ホール棟
音楽ホール
料金 無料
お問い合わせ
音楽科副手室
Tel 097-545-8758



3/24 TUE ~ 29 SUN So Graphics 2026/ シンポジウム

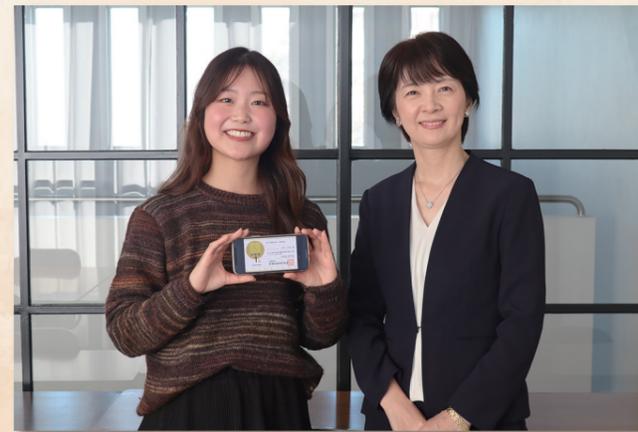


グラフィックアートコースによる学生及び教員の展覧会。複製芸術によるプリント表現を主にアート作品を展示。会期中、ゲストアーティストとのシンポジウムを開催いたします。

時間 11:00~18:00※最終日は~16:00
場所 大分県立美術館(OPAM)
料金 無料
お問い合わせ 美術科デザイン専攻グラフィックアートコース
Tel 097-545-0542(代表)

TOPICS 01

2025年度 秘書検定で 国際総合学科の学生が1級に合格しました



公益財団法人実務技能検定協会主催の2025年度ビジネス系検定の秘書検定で、国際総合学科2年の水町心春さんが1級に合格しました。本学からの合格者は5人目となります。

水町さんは「授業を受講して秘書検定は資格として欲しいと思います。日常でも使えます。自分の自信に繋がる資格だと思うので、ぜひ挑戦してみてください」と話してくれました。

本学では「秘書実務Ⅰ・Ⅱ」で座学や実技を学ぶことができます。

竹田キャンパス Taketa Campus

竹田キャンパスは、ゼミやサークルでの合宿、創作活動の拠点として竹田市に2010年4月にオープンした、芸文短大と地域との交流の場です

最近学生が何度か野焼き(窯などができる以前の陶芸の焼成方法)で竹田キャンパスを利用してあります。自分達で方法を調べて実験的に進めてあります。割れたり失敗も繰り返しながらですが、仕上がった作品はどれも窯で焼いたものとは違った趣きのある作品に仕上がっていました。焼成時間は結構かかりますし、火の番をしながらになりますので、その傍らで焼き芋、焼肉、焼き魚、たこ焼きなどをして楽しんであります。本学ではできない技法や実験をここの竹田キャンパスではできることもあります。どうぞご利用ください。



「日々是精進」

美術科

- 豊和銀行主催 第33回公募アマチュア絵画展
アマチュア大賞 於久 葉月 (1年 美術専攻)
OAB賞 早田 彩巴 (2年 デザイン専攻グラフィックアートコース)
- #知って見抜こう間バイト メッセージ動画・静止画コンテスト
審査員特別賞 本田 千尋 (1年 デザイン専攻グラフィックアートコース)

音楽科

- 第35回日本クラシック音楽コンクール
ピアノ部門 大学の部 全国大会
入選 佐伯 綾音 (2年 ピアノコース)
- 第21回中津An die Musik ピアノコンクール
ソロ部門 大学生コース 自由曲部門
優秀賞 左山 悠奈 (1年 ピアノコース)
奨励賞 岩川 雛葉 (2年 ピアノコース)

音楽専攻

- 第31回宮日音楽コンクール
ピアノ部門 大学の部
優秀賞 白瀧 芽生 (1年 ピアノコース)

専攻科造形専攻

- 第118回日展
特選 園田 陽菜 (1年 美術コース)
- TURNER AWARD 2025
未来賞 石田 ゆらん (1年 美術コース)

国際総合学科

- 第14回 インテリア設計士の家具デザインコンペ
最優秀賞 佐原 愛音 (1年 プロダクトデザインコース)
JIA賞 田原 ひなの (1年 プロダクトデザインコース)
- 第116回中国語検定試験
3級合格 島崎 羽生 (2年)
- 大分県日中友好協会主催
第10回大分県中国語スピーチコンテスト 朗読の部
優秀賞 濱田 裕央 (1年)
敢闘賞 島崎 羽生 (2年)
- 文部科学省後援 秘書技能検定試験
1級合格 水町心春 (2年)

President's column

学長コラム 生きる喜び



似顔絵・学長秘書 高野 桐子

ボスボラス海峡大橋

トルコのイスタンブールにあるボスボラス大橋はアジアとヨーロッパを繋ぐ橋として有名です。1973年に第1ボスボラス大橋が英国の会社によりかけられました。第2ボスボラス大橋の建設が企画されたのは私が世界銀行のスタッフだった1980年代半ばでした。

ワシントンに出張してきた大蔵省の先輩から相談がありました。第2大橋の入札に日本の合弁事業が勝ったのだが、英国政府が日本が勝ったのは長期低金利の円借款による貸付が主な理由で公平ではないと主張し、サッチャー首相のご主人も乗り出してきたと困っている、どう思うかということでした。

円借款の条件は先進国の集まりである経済協力開発機構の規定に沿ったものでした。私は英国政府の反対には理由がないので橋を建設してはどうかと答えました。

調べてみると、入札に勝った日本、イタリア、トルコの合弁の競争相手も英国、日本、トルコの合弁会社であり、前者の入札価格が低かったのは円借款のせいではなく、橋への取り付け道路を担当したイタリアの会社の建設費が英国の会社より低いことが理由でした。